



# まちの話題 Topics in the Town



イベント  
フォトギャラリー

10月  
19日

## 新型コロナウイルス対策に役立てて



新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいと、㈱開邦工業玉寄将代表取締役より不織布マスク400枚、冷感布マスク400枚、一般用防護服240着、手指洗浄用アルコールジェル40本、フェイスシールド80枚の寄贈がありました。玉寄社長は「西原町のために役立ててほしい」と話しました。崎原盛秀町長は「検診や、いざという時のための備蓄も含めて、感染症予防対策に活用させていただきます」と感謝を述べました。

10月  
22日

## うちやたいまぐらあ絵本を寄贈

西原小と西原東小で初任者研修拠点校指導教諭を務める新垣トシエ先生より、町内の小中学校と町立図書館に絵本「金丸とムーチーとうちやたいまぐらあ」の寄贈がありました。本作は、西原町に伝わる「うちやたいまぐらあ」をテーマに、首里城再建の思いも込めて、子どもたちに琉球王朝時代に関心を持ってもらいたい、西原に金丸を支えた縁の下の力もち「うちやたいまぐらあ」がいたことを知ってもらいたいという思いから新垣さんが作成したものです。新垣さんは「この絵本が地元の歴史に興味を持つきっかけになってくれたら嬉しいです」と笑顔

10月  
15日

## 山城美枝さん りゅうぎん紅型大賞受賞



山城美枝さん(宇小波津)が町役場を訪問し、第29回りゅうぎん紅型デザインコンテストにおいて山城さんの作品「悠久の海」が大賞を受賞したことを報告しました。作品は海の生き物が悠々と泳ぐ様子が描かれ、美しい青が色あせることのない島であるようにという願いが表現されています。山城さんは「1人でも多くの人に紅型の魅力を知ってもらいたい」と目標を語りました。崎原盛秀町長は「若い世代の方が紅型に取り組んで大賞を受賞したことを誇りに思います」と功績を讃えました。



を見せ、新島悟教育長は「町の子どもたちが楽しみながら歴史を学ぶことができます」と感謝を述べました。絵本に載っているQRコードでは、新垣さんによるうちやたいまぐらあ歌の聴くこともできます。ぜひ読んでみてください。



## 尚円王即位550年記念 西原町に残る 金丸(尚円王)伝説

今回は、西原町の各地に残されている、金丸にまつわる伝説(伝説地)について紹介します。

【字嘉手刈】 国指定史跡「内間御殿」の敷地内には金丸が使用していたという井戸「カニマルウカー」があります。また、字嘉手刈南側の国道三二九号沿いには、「ジーマヌウカー」という井戸がありますが、そこは金丸が漁網を干した場所ともいわれていることから、アミフシガーとも呼ばれていたようです。

【字内間】 内間集落の東側には金丸と内間<sup>※2</sup>ノロが出会った場所「ナコーモ」と称される丘があったようです。また、集落北側には金丸が首里に上る途中に一時的に滞在していた(のちに内間ノロと一緒に過ごした)といわれている場所「カヤブチ御殿」があります。そして、この敷地近くに金丸が使っていたという井戸「イウォウカー」も見ることが出来ます。

【字小那覇】 海岸沖の方には、「ンスハジ」と称される干瀬(サンゴ礁)があります。そこでは金丸が家臣らに國王になるよう説得され、王衣に着替えたとの言い伝えがあります。

【字津花波】 字津花波の入口(県道三八号線沿い)付近には「ウガンジャマ」と呼ばれる場所があったようです。そこは金丸が首里に上る際に、かつての妻に復縁を求められた場所との話があります。

これらの伝説から、金丸の人物像や金丸の天下人となる物語の舞台の一つが西原であったことが垣間見えます。

※1 尚円王を祀るために建てられた神殿(東殿)を中心とする祭祀施設。  
※2 地域の祭祀を執り行う女性祭司。

お問い合わせ 文化課文化財係 944-4998

10月  
14日

## ママの夢サミットで笑顔こぼれる



池田にある島とうふ専門カフェ「CAFEソイラボ」にてママ同士でやりたいことや夢を語り合い、応援し合う「ママの夢サミット

in沖縄」が開催されました。本サミットは全国で開催されており、沖縄県での開催は昨年に続き2回目です。参加者はおいしいランチを楽しみながらお互いの夢や目標を語り合い、お互いに共感していました。知念奈々実行委員長は「年に1度でも「ママ」が主役になって、「私がやりたいこと」を語れる場があることが、1歩踏み出す大きな助けになる」と語りました。参加者からは「新しい1歩を踏み出すのは不安だが、他のママと話すことで元氣と勇氣がもらえる」と笑顔がこぼれました。

10月  
15日

## まちづくり推進協議会 自治会へ補助



西原町まちづくり推進協議会(福里重盛会長)から、小波津団地自治会(新里正次会長)、呉屋自治会(呉屋弘子会長)の

2団体に、補助金交付決定通知式が行われました。この補助金は、協議会の活動の趣旨に準じた特色あるまちづくりに資する事業を実施するものに対して補助されるもので、小波津団地自治会は青年会エイサーの締め太鼓などを整備し、青年会活動の活性化を図る事業を予定しており、呉屋自治会は公民館周辺への花木の鉢植えと花園を整備し、花と緑豊かな美しい地域づくりを目指します。福里会長は「いいまちづくりの手本となるよう頑張ってください」と激励しました。

10月  
14日~15日

## Net119 説明会

障がいの有無を問わず、だれもが安心・安全な生活を送れるよう、東部消防組合消防本部警防課から講師を招き、「Net119緊急通報システム」の説明会を開催しました。このシステムは、聴覚または音声・言語機能の障がいなどがある方がスマートフォンなどを用いて音声によらない119番通報をすることができるものです。参加者はシステムについて手話で説明を受け、実際に練習モードを利用して「もしも」のときの使い方を学んでいました。参加者は「自分や誰かの緊急事態に、スマホで助けを呼べるので、とても助かる。周りの人にも伝えていきたい。今日は参加して良かった」と笑顔を見せました。

10月  
7日

## 沖縄森永乳業 FC琉球チケット寄贈



町と包括連携協定を結んでいる沖縄森永乳業(知念良明代表取締役)から同社の50周年を記念して、西原町のこどもたちに

ぜひ観戦してほしいと、同社がスポンサーを務めるFC琉球のホームゲームのチケット40枚の寄贈がありました。FC琉球の試合は小学生まで無料で観戦できるため、チケットは中学生の希望者へ配布されました。新島悟教育長は「いろいろなイベントの中止が相次ぎ、落ち込みがちなかどもたちにとって、サッカーの試合観戦は大きなパワーになります」と感謝を述べました。

10月  
9日

## 山田美優さん 女子フットサル県大会優勝



女子サッカーチーム「カーサ・オキナワ・アレ」に所属する山田美優さん(西原中2年)が町役場を訪問し、第11回沖縄県U15フットサル女子大会での優勝を報告しました。山田さんは「九州大会では、チーム一丸となって優勝したいです。将来はサッカー選手になって、西原町を代表できるような選手になりたいです」と抱負を語りました。崎原盛秀町長は「女子チームの数も増えてきている中、輝かしい成績を収めたことを誇りに思います。監督や両親、支えてくれる方への感謝を忘れずに今後も頑張ってください」と激励しました。

